

大阪府工業指数2026年1月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1)生産指数…93.6 前月比6.2% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業など10業種が上昇し、化学工業、食品工業など4業種が低下した。

品目別にみると、プロジェクト、鉄道車両部品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、6.5%と2か月連続の上昇となった。

(2)出荷指数…92.5 前月比6.0% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業など10業種が上昇し、汎用・業務用機械工業、化学工業など4業種が低下した。

品目別にみると、プロジェクト、化学機械等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、3.8%と7か月ぶりの上昇となった。

(3)在庫指数…101.1 前月比2.1% 3か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、石油・石炭製品工業など6業種が上昇し、その他工業、輸送機械工業など7業種が低下した。

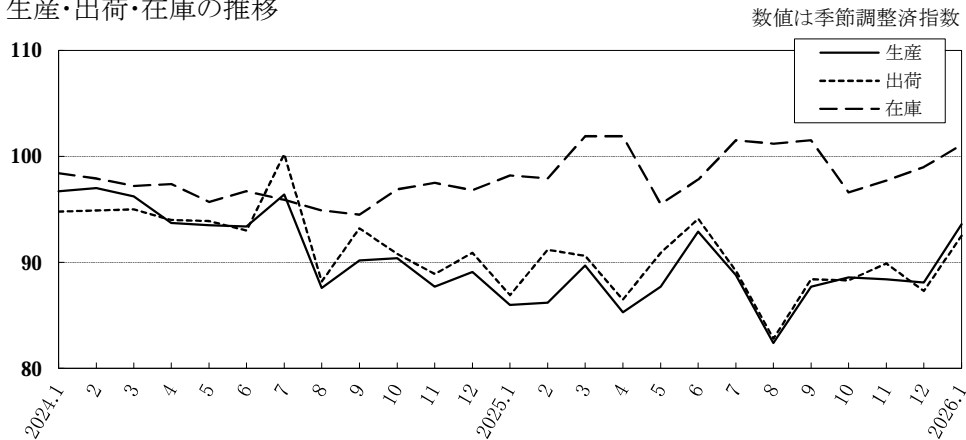
品目別にみると、ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、3.0%と3か月連続の上昇となった。

2020年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2025 年 12 月	88.1	▲0.3	92.6	1.0
	2026 年 1 月	93.6	6.2	86.3	6.5
出 荷	2025 年 12 月	87.3	▲2.9	93.1	▲1.7
	2026 年 1 月	92.5	6.0	84.5	3.8
在 庫	2025 年 12 月	99.0	1.3	97.4	2.3
	2026 年 1 月	101.1	2.1	100.2	3.0

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 6.2% 上昇 10 業種
 低下 4 業種
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	1.860	26.1	プロジェクタ、セパレート形エアコン(室外)
	輸送機械工業	1.450	28.7	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	生産用機械工業	1.063	8.9	化学機械、産業用ロボット
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.554	4.9	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材
	その他工業	0.433	6.7	平版印刷(オフセット印刷)、木製家具
	金属製品工業	0.290	3.1	飲料用アルミニウム缶、スチール製缶
	汎用・業務用機械工業	0.150	1.7	試験機、汎用内燃機関
	プラスチック製品工業	0.144	4.2	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器(中空成形)
	窯業・土石製品工業	0.120	9.3	生コンクリート、ファインセラミックス(構造材)
	石油・石炭製品工業	0.042	0.7	重油、灯油
	その他の上昇した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、装輪式トラクタ【生産用機械工業】
低下	化学工業	▲ 0.800	▲ 4.7	医薬品、合成洗剤
	食料品工業	▲ 0.318	▲ 3.2	食用油脂、ウイスキー
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.102	▲ 17.0	音響部品(スピーカ・マイクロホン)
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.047	▲ 2.6	紙器用板紙
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	プロジェクタ	電気・情報通信機械工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	化学機械	生産用機械工業
	4	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	5	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	6	試験機	汎用・業務用機械工業
	7	特殊鋼熱間圧延鋼材	鉄鋼・非鉄金属工業
	8	鉄道車両	輸送機械工業
	9	生コンクリート	窯業・土石製品工業
	10	産業用ロボット	生産用機械工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	金属工作専用機	生産用機械工業
	3	橋りょう	金属製品工業
	4	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	5	ガソリン	石油・石炭製品工業
	6	食用油脂	食料品工業
	7	電気計器	電気・情報通信機械工業
	8	分析機器	汎用・業務用機械工業
	9	ウイスキー	食料品工業
	10	固定比減速機	汎用・業務用機械工業

(2)出荷 前月比 6.0% 上昇 10 業種
 低下 4 業種
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	1.542	26.8	プロジェクタ、開閉制御装置
	輸送機械工業	1.273	19.8	シャシー・車体部品、鉄道車両部品
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.940	7.1	アルミニウムはく、特殊鋼熱間圧延鋼材
	生産用機械工業	0.614	6.5	化学機械、ショベル系掘削機械
	金属製品工業	0.507	5.1	飲料用アルミニウム缶、スチール製缶
	その他工業	0.340	5.8	システムキッチン、タフテッドカーペット
	窯業・土石製品工業	0.100	9.4	生コンクリート、 ファインセラミックス(構造物)
	プラスチック製品工業	0.081	1.8	プラスチック製機械器具部品、 プラスチック製容器(中空成形)
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.065	3.9	段ボール原紙
	電子部品・デバイス工業	0.031	7.2	固定コンデンサ
	その他の上昇した品目			ジェット燃料油【石油・石炭製品工業】、 界面活性剤【化学工業】
低下	汎用・業務用機械工業	▲ 0.226	▲ 2.5	パッケージ形エアコン、ポンプ
	化学工業	▲ 0.150	▲ 1.1	医薬品、合成洗剤
	石油・石炭製品工業	▲ 0.089	▲ 1.0	ガソリン、軽油
	食料品工業	▲ 0.074	▲ 0.7	ウイスキー、ハム・ソーセージ
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 2.1% 上昇 6 業種
 低下 7 業種
 横ばい 0 業種 計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	1.572	17.1	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	石油・石炭製品工業	0.723	20.1	灯油、軽油
	電気・情報通信機械工業	0.476	3.9	セパレート形エアコン(室外)、 LED器具(除、自動車用)
	汎用・業務用機械工業	0.288	3.5	汎用内燃機関、 冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)
	プラスチック製品工業	0.116	3.0	プラスチック製パイプ、 プラスチック製フィルム・シート
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.073	0.3	普通鋼小形棒鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材
		その他の上昇した品目		
低下	その他工業	▲ 0.893	▲ 15.0	クレヨン・パス・水彩絵の具、 マーキングペン
	輸送機械工業	▲ 0.124	▲ 11.1	電動アシスト自転車
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.118	▲ 10.3	紙器用板紙
	食料品工業	▲ 0.086	▲ 1.7	ハム・ソーセージ
	金属製品工業	▲ 0.083	▲ 0.9	スチール製缶、作業工具
	化学工業	▲ 0.044	▲ 0.3	ふっ素樹脂、界面活性剤
	窯業・土石製品工業	▲ 0.007	▲ 1.0	耐火れんが、電気用陶磁器
	その他の低下した品目			アルミニウムはく【鉄鋼・非鉄金属工業】、 ジェット燃料油【石油・石炭製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

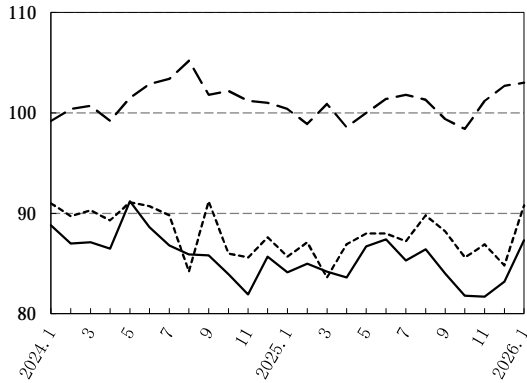
数値は季節調整済指数
2020年=100

生産 ————
出荷
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



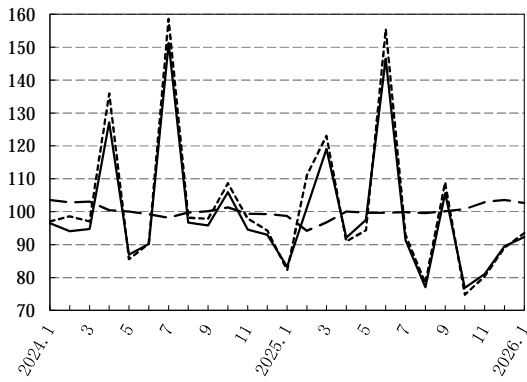
鉄鋼・非鉄金属工業



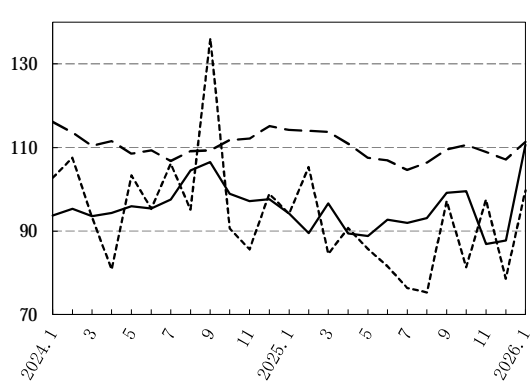
電子部品・デバイス工業



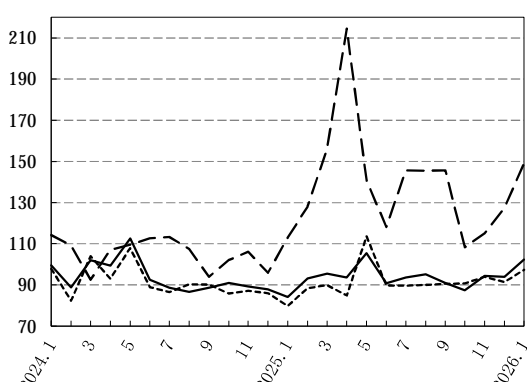
金属製品工業



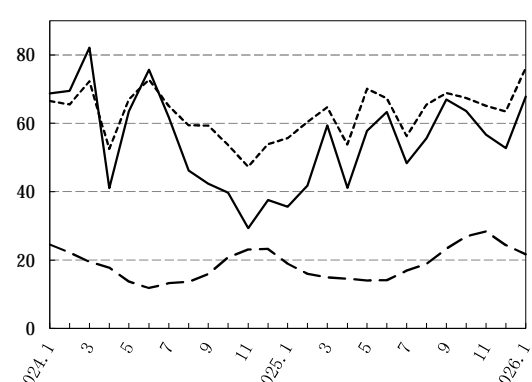
電気・情報通信機械工業

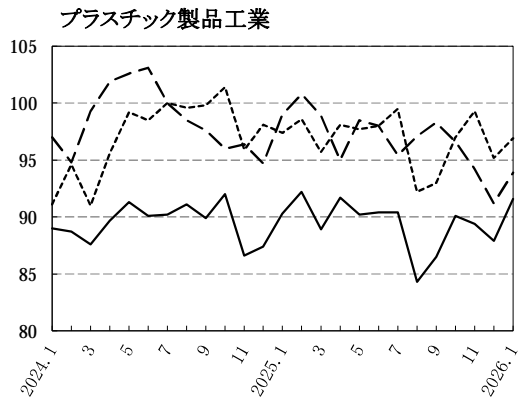
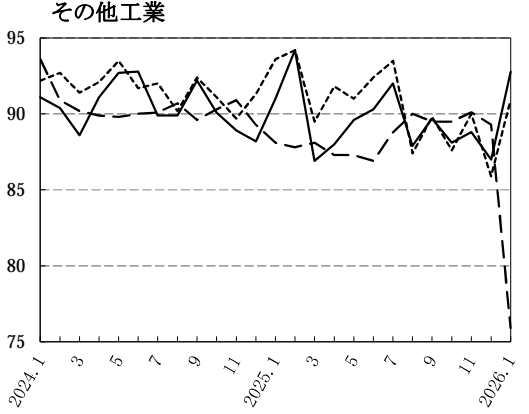
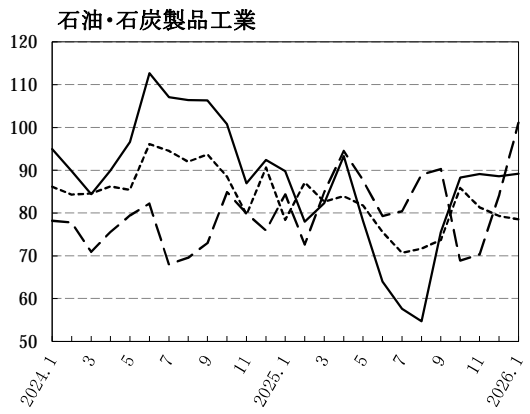
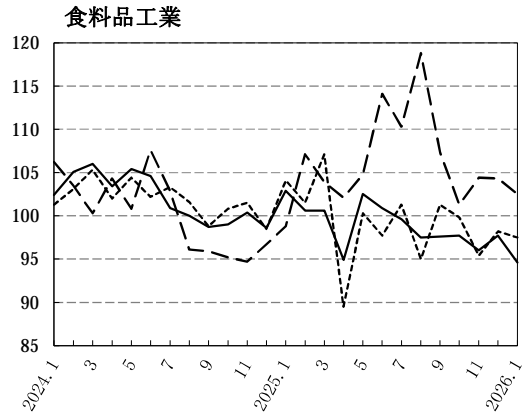
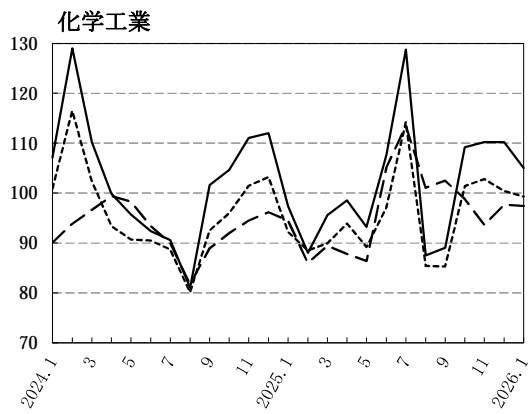
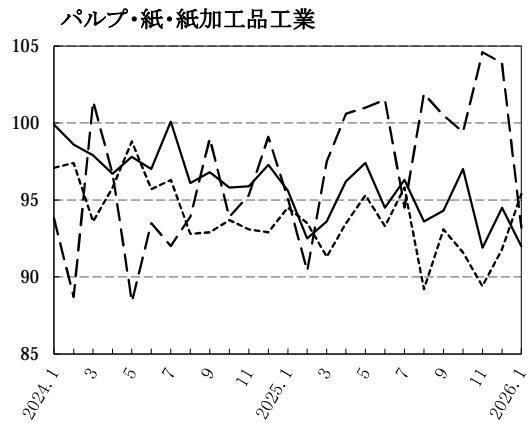
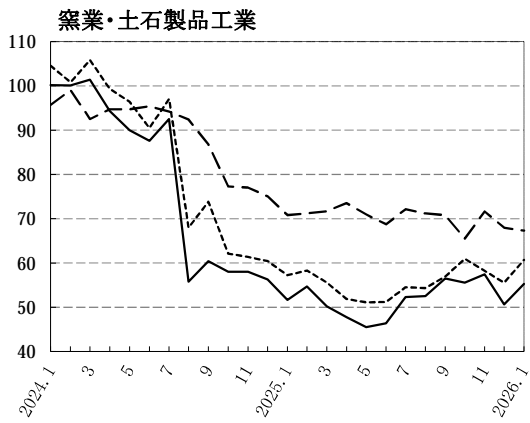


生産用機械工業



輸送機械工業





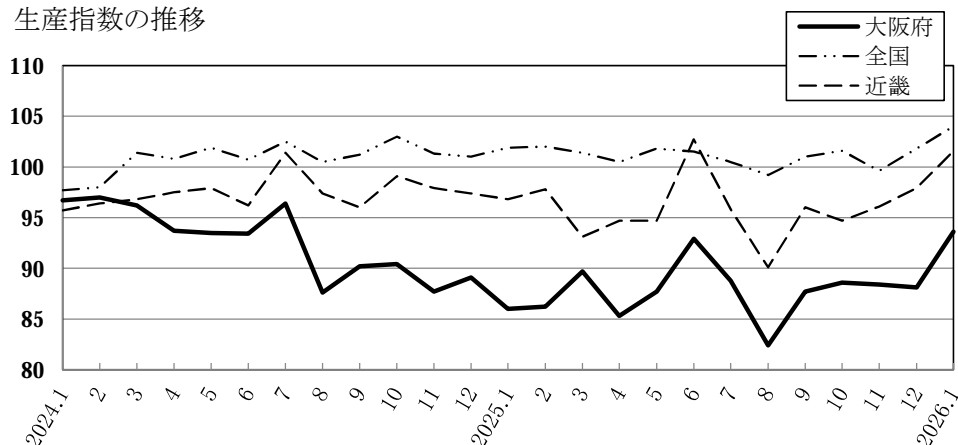
4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	93.6	6.2	104.0	2.2	101.6	3.8
出荷	92.5	6.0	102.2	3.2	100.2	4.3
在庫	101.1	2.1	98.3	0.1	104.2	▲0.1

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」……負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数とといいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{当月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2024年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2025年6月速報(2025年8月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2025年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)